

シップメイト通信

2022年
11月30日
発行

P. クラウス先生とP. シムキン先生の名著
『WHEN SURVIVORS GIVE BIRTH』の翻訳書
待望の翻訳書

本書は、子どもの頃に性的虐待を受けた方の妊娠・出産時のサポートについて書かれた洋書『WHEN SURVIVORS GIVE BIRTH』の翻訳書です。
原書は2004年に刊行され、世を驚かせ、20年近くも絶版になることなく読み継がれ、2021年に改訂版が電子書籍で刊行されました。
妊娠・出産期に女性のそばにいる医療者、支援者、専門職向けに書かれており、産科の事例とともに、妊娠・出産期の様々なケアの考え方を伝えています。多くの医療者や、世界中のワークショップや研修が広がって、支援者養成にも活用されています。
——本書をきっかけに読者が広がったら幸いです。

第1章 子どもの頃の性的虐待と、 社会での受け止められ方	第9章 出産時の不安や恐怖、それに対 応するための自衛の方法
第2章 子どもへの性的虐待と 成人後への影響	第10章 出産カンセリング
第3章 子どもの頃の性的虐待が 妊娠に与える影響	第11章 心療療法
第4章 子どもの頃に性的虐待を受けた 女性の出産について	第12章 性的虐待を受けた経験があるク ライエントへの対応などの 実践について
第5章 産後	第13章 妊娠中の不安や恐怖を減らし、 適切なケアを行うための 書籍『アパラン』の作成
第6章 出産する人と 医師・助産師との関係	第14章 インフォームド・チョイス・ア ン・メイキング・ヒアリング・カ シー
第7章 コミュニケーションスキル	第15章 あとがき
第8章 マタニティケアの専門家 バーエグザクティブ、ドクター、 助産師など、マタニティケア	

*** フィリス・クラウス(Phyllis Klaus)
(MFT, LMW/MWマタニティケア・セラピスト/カウンセラー)
ペニー・シムキン(Penny Simkin)
PT(産科助産士)

※ 白井 千晶 ※ 性暴力サイバーの
妊娠・出産ケアプロジェクトチーム

性暴力サイバーが出産するとき
子どもの頃に性的虐待を受けた女性が出産するときに起こることを理解し、
産科・産科助産師と協力し、安全な出産を実現するためのサポートを提供する。
発行元: 株式会社ともあ / 85頁 / 本文1巻 / 352p / ISBN 978-4-910393-68-1 (定価: 5,500円 (税別))

300円OFF!!
※ 300円OFF!!
※ 300円OFF!!
※ 300円OFF!!

IN THIS ISSUE ...

2022年を振り返る
- 代表より
- 2022年の事業
2023年とその後に向けて

COMING UP...

2023/2/10 (金) 21:00
ツ・ナ・ガ・ル
ドゥーラTime

Peatixよりお申込み
間もなく開始

2023/2/13 (月)
20:00
When Survivors Give
Birth — サバイバーが
出産するとき — 精読会

日本フォレンジック看
護学会のホームページ
よりお申込み
<https://jafn.jp/?p=3353>

寄付のお願い

皆様のサポートをいた
だき今後一層努力して
まいりますのでどうぞ
ご協力お願いします。

寄付先：
paypal.me/doulashipjapan

2022年を振り返る

BY DOULASHIP JAPAN 代表

対面のイベントが再開されることが
多くなりましたが、働き方や人との
かわりに関して、大きく変わった
と感じられた2022年ではなかったで
しょうか。

日本では、2021年の出生数が81万人
あまり、2022年は国の統計開始以来
初めて80万人を下回ると予想されて
おり*1*2、少子化が加速していま
す。

一方、産む方については、初産年齢
の平均は30.7歳*3。助産師が単独で
扱える出産年齢が35歳未満という
ことを考えると、産科医師のもとで産
まざるを得ない方が増えています。

また、産む方の年齢や条件に関わら
ず、「産める場所がそもそも近くに
ない」という声も多く聞きます。

少なくなるお産。それなのに産む選
択肢が限られている。そんなシステ
ムを改善し、すべてのお産がその人
にとってエンパワメントになるよ
う、社会全体で守られるべきでし
ょう。ドゥーラとして、産む人の声
を聴き、助産師の声を聴き、産科の現
場の声を聴き、それらをつなげる輪
の一部として、強く、前向きに活動
するために、ますます仲間どうしの
つながり・理解・高めあいが大切だ
と感じています。

*1 日本総研

(<https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/report/research/pdf/13793.pdf>)

*2 NHK

(<https://www3.nhk.or.jp/news/html/2022126/k10013903861000.html>)

2022年を振り返る... (続き)

2022年の年明けは、DSJメンバーが関わった「性暴力サバイバーが出産するとき」のシンポジウムが開かれ、年末にはその翻訳書が発売になりました。

また2022年9、10月に行った「出産の公平性を考える」3回講座では、人権として出産が守られるべきこと、性暴力被害とトラウマケアについて、そして在日外国人が日本で出産することについて、専門家のお話を伺いました。少なくなる出産の中でも、いろいろな課題があり、ますます広いステークホルダーとの連携が必要だと感じます。

DSJでは、ドゥーラ掲示板に登録しているドゥーラたちに、登録のメリットは何か聞いてみました。すると、「他のドゥーラとつながれたこと」「遠く離れていても仲間がいるという励みになった」という、「つながり」に関して役立っているという声が多く寄せられました。

希望ある出産とその後の人生を応援したい、と集まってくれたドゥーラたちのハブとなれるよう、
 ◎ドゥーラと産む人、
 ◎ドゥーラ同士、
 ◎ドゥーラとバースワーカー、
 ◎ドゥーラと社会、
 をつなげていけるよう、2023年も活動していきたいと思います。

いつも応援ありがとうございます。

*3 厚生労働省

(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/tokusyu/syussyo07/dl/gaikyou.pdf>)

宇津澤紀子

【ドゥーラ掲示板登録してよかったこと】
 ★つながる・仲間がいる
 ★自身の広報の一助となる
 ★信頼度が上がる・自身の意識向上
 ★ドゥーラを知ってもらえる機会になる
 ★講座の割引

「暴力の世代伝達を
断ち切るためには周
産期において女性と
子どもを守ることが
キーポイント」

長江美代子先生（「出
産の公平性を考える」
講座より）

ドゥーラの語源は
women's servant
医療者の弱点
(上から目線
になりやすい、
押しつけのケアを
しやすい、強がる)
を補う存在

福澤利江子先生（「出産の公
平性を考える」講座より）

こんなことあったよ2022年

翻訳刊行記念シンポジウム 「性暴力サバイバーが出産するとき：求められるケアとは」

2022年1月 2日間のべ参加人数277人

会場とオンラインとのハイブリッド開催で、名古屋と静岡の2か所で行われました。

翻訳書の内容をご紹介したあと、助産の実践の場から、性暴力被害者支援看護職（SANE）の支援活動からのご講演をいただきました。



医師、助産師、看護師、精神科関係者、地域支援者、メディアの方など幅広い分野の方にご参加いただき、この内容についてもっと広く知られなければいけないという感想を多数いただきました。

孤独・孤立相談ダイヤルへの参加

2022年12月



内閣官房に所属する、孤独・孤立対策担当室が実施した、孤独・孤立相談ホットラインにDSJの木村、宇津澤が相談員として協力・参加しました。

20-30代の低所得者層などで孤独を感じる割合が高い傾向があること。また、孤立の観点では調査の半数の方々が社会活動など人との交流につながるなんらかのアクティビティにかかわっていないということで、『孤独』を感じているそうです。

DSJも、この官民連携による支援にドゥーラスピリットで寄り添いたいと思っての初参加でした。分野を超えて相談を受け、支援拠点や支援機関におつなぎするまでの伴走、ということで全国様々な組織の活動を知ることができました。

今後も機会があれば継続して協力し、支援の必要な妊娠中の方などの相談があれば、地域のドゥーラ、助産師、支援組織とつなげていきたいと思っています。

WORLD DOULA WEEK

3月22～28日 協力ドゥーラ 7人
出演してくれたドゥーラと産んだ方 7人
Youtube動画再生数 592回



昨年に続き、今年も世界ドゥーラ週間に参加。Youtubeライブにて、ドゥーラと一緒に産んだ方の実際の声を届けました。テーマは、帝王切開、水中出産、外国でのお産、日本で外国人が出産する時、コロナ禍でのバーチャル付き添いなど。

また、「UMIのいえ」と福澤利江子さんのご協力により、「A Doula Story」のオンライン上映会も行いました。

今回は登録ドゥーラの方に多くご協力いただきました。一緒にイベントをするのが楽しかったと言っていただき本当に嬉しいです！

SACRED SPACEの創り方

2月 参加人数7人



開始！継続中！プロジェクト

ドゥーラ相談室

<説明>

出産ドゥーラとして活動を考えている方、活動を始めて悩んでいる方など、出産ドゥーラのための相談の場です。

こんなことがあって話したい、はじめてのケースでどうしたらいいか、他の人はどうしているのか、など

ドゥーラならではの相談ごとにドゥーラシブのスタッフが1対1で耳を傾けます。基本ZOOMを利用しますが、その他の手段をご希望の方はお伝えください。

<ご利用方法>

こちらのフォームからお申込みください。
<https://forms.gle/YERho5DbZ5eAX7VW9>

ご希望内容に基づいてDSJから折り返し担当と相談日時についてご連絡します。

<ご利用料金>

30分 指名なし 一般：¥600 登録ドゥーラ：¥500
30分 指名あり 一般：¥800 登録ドゥーラ：¥640
1時間 指名なし 一般：¥1000 登録ドゥーラ：¥800
1時間 指名あり 一般：¥1500 登録ドゥーラ：¥1200

<DSJ担当者>

伊東清恵（ニューヨーク在住出産・産後ドゥーラ、ヨガインストラクター、CHILDBIRTH EDUCATOR。100件以上のお産に付き添っている）

薬師寺麻利子（東京在住 出張開業助産師として両親学級、新生児訪問、母乳育児支援を行う。シアトルで出産ドゥーラとして30件以上のお産に付き添う）

宇津澤紀子（ヒューストン在住ドゥーラ、マッサーセラピスト。社会的弱者といわれる人の出産支援をめざしている）

お問い合わせ：office@doulashipjapan.org

バースプランにドゥーラを

「ドゥーラとお産をした体験募集」

出産ドゥーラに関する研究や事例を集めています。

ドゥーラとお産をした方、ドゥーラを受け入れている医療施設などをご存知でしたらアンケートやインタビューをお願いしたいと思います。

DSJのウェブサイトからアクセスして下さい。

>ホーム画面>[お知らせ](#)

❄️ SNEAK PEEK 2023 ❄️

ツ・ナ・ガ・ル ドゥーラTime

ドゥーラ同士のぶっちゃけつながりの場。ドゥーラならではの話題で毎回盛り上がっています！エンパワメント・インスパイアされることお約束！みなさんとツ・ナ・ガ・ルのを楽しみにしています

性暴力サバイバー翻訳書 精読会

日本フォレンジック看護学会の主催により、「性暴力サバイバーが出産するとき」の精読会が2023年1月より8月まで、毎月一回無料で開かれます。参加希望の方は、学会ホームページ：

<https://jafn.jp/>

からお申し込みください。

※シブメイトの方へ：登録いただいたメールアドレスに変更がある場合はご連絡下さい。お知らせが届かない方がおり困っております。

発行元：

一般社団法人 Doulaship Japan
<https://www.doulashipjapan.org/>



DSJ事務局：

office@doulashipjapan.org



みなさんのお気持ちを大切に活動していきます。
どうぞご支援よろしく願います